

2024年11月26日

株式会社 KADOKAWA

台湾角川 25 周年記念で 3 つの重大発表 「クラシック IP の再現」「新事業の展開」「台湾 IP のグローバル化」



左から、台湾角川:総経理 陳 威光、文策院:董事長 蔡 嘉駿、台湾角川:董事長 岩崎 剛人、KADOKAWA:代表執行役社長 CEO 夏野 剛、KADOKAWA:Chief Global Officer (CGO) 泉水 敬、台湾 BOOK☆WALKER:総経理 陳 佳聰、台湾角川:出版事業総監 呂 慧君

株式会社 KADOKAWA（本社：東京都千代田区、取締役 代表執行役社長 CEO：夏野剛、以下 KADOKAWA）の海外連結子会社である台湾角川股份有限公司（台湾台北市、董事長：岩崎剛人、以下台湾角川）は、11月8日に、KADOKAWA グループの初の海外拠点として設立してから 25 周年を祝う「25 周年記念祝賀茶会」を開催しました。

台湾角川は 1999 年に台湾に進出し、現在累計発行部数は 6,000 万部以上、自社が開発・運営している小説プラットフォーム「KadoKado 角角者」の会員数が 15 万人を超え、台湾 BOOK☆WALKER の会員数も 75 万人を超えました。伝統的な出版事業から、電子書籍、タテスクコミック、コンテンツライセンス、メディアミックスなど幅広く IP コンテンツ事業を展開、近年では繁体字中国語のオリジナル IP も積極的に推進しており、KADOKAWA グループのグローバル展開を通じて、優れた中国語コンテンツの海外進出に注力しています。

KADOKAWA の代表執行役社長 CEO である夏野は「台湾は KADOKAWA グループがグローバル経営を行う上で重要視している地域の一つであり、過去 25 年間にわたる台湾読者のご支援により、今後も KADOKAWA グループのサービスを台湾市場にシームレスに繋いでいき、さらに IP のグローバル・メディアミックス戦略を通じて、台湾オリジナルの IP コンテンツを多様化し、台湾角川の次の 25 年の礎を築いていきたい」と述べました。

台湾角川董事長の岩崎は「台湾市場は常に日本の翻訳作品を温かく受け入れており、台湾人が創作した現地オリジナル作品を台湾市場に投入することは非常に重要であり、台湾角川が今後も推進していかねばならない重点プロジェクトの一つであると真摯に考えている」と述べ、「今後もグループの戦略である『グローバル・メディアミックス with Technology』を台湾で実践していくため、台湾 IP の展開に興味のある企業や機関が集まって IP メディアミックスチームを結成し、協力いただけることを期待している」と語りました。祝賀茶会では、「クラシック IP の再現」「新事業の展開」「台湾 IP のグローバル化」という 3 つの重大発表が行われました。

【重大発表①：クラシック IP の再現】



「クラシック IP の再現」：台湾角川は、古典文学のコミックシリーズ『Masterpiece Comics』の繁体字中国語版を発売する予定

“ゼロ距離”のクラシック「KADOKAWA Masterpiece Comics」が台湾に上陸！

台湾角川は、2024年にKADOKAWAが出版し始めた「古典文学コミック KADOKAWA Masterpiece Comics (KMC)」シリーズの導入を発表。本シリーズは「百年の名作」をテーマに、厳選した文学作品を取り上げてコミカライズするもらうことで、現代性とエンターテインメント性を兼ね備えた“ゼロ距離で気軽に楽しめる”ビジュアル文学作品となります。『遠野物語』第1巻の繁体字中国語版は2025年に台湾で刊行予定です。

日本のレジェンドライトノベル、韓国ウェブマンガの名作が登場！

世界累計発行部数 2000 万部を突破し、数々のコミック、TV アニメ、ボイスドラマ、ゲームなどのメディアミックスを展開した、ライトノベルの頂点とも言われる作品、『涼宮ハルヒ』シリーズの最新作として、4年越しで制作された『涼宮ハルヒの劇場』が、11月29日に台湾を含めた全世界でサイマル発売されます。また台湾角川は、韓国で累計1億アクセスを超えた大人気ウェブマンガ『全知的な読者の視点から』の出版権を取得したことを発表。本作品は韓国人作家の sing N song 氏による原作小説のコミカライズ作品で、科学、宗教、神話、ゲームなど、要素が多岐にわたる作品です。

【重大発表②：新事業の展開】



発表した新事業分野のひとつ、KADOKAWAのサービス「くじ引き堂」。2025年第1四半期に台湾に導入予定。日本のくじ引き商品を現地でサイマル展開し、公式サービスにより保証された正規品を提供します。

KADOKAWA のくじ引きサービス「くじ引き堂」の導入

台湾角川は KADOKAWA のサービス「くじ引き堂」の導入も発表し、繁体字中国語版のアニメ・コミック商品のくじ引き公式サービスを台湾で展開予定です。くじ引き賞品は日本と時間差なく同時に発売され、台湾現地に直接届けることが可能。サービス開始は 2025 年第 1 四半期に予定しており、日本と同時発売の企画や、人気レジェンドくじの再販企画など約 100 個近くの企画が展開される予定です。

ライトノベル読み放題・漫画連載館の新設

「KadoKado 角角者」は、日本のライトノベルの読み放題ができるサブスクリプションサービス「Kado Plus」を開始すると発表。11 月 20 日よりテスト運営を開始し、2025 年第 1 四半期に詳細情報を公開する予定です。コミックに関しては、台湾 BOOK☆WALKER がインターフェースを一新した「BOOK☆WALKER 連載館」を立ち上げました。総数 2,000 作品以上、連載話数は 20,000 話を超えたほか、日台共同開発のコミックが初公開され、クイック決済や即読機能にも対応し、読者に途切れることのない没入感を提供することができます。

IP 価値の向上に向けて、IP メディアミックスを積極的に推進。実写映像化の投資にも参入！

台湾 IP のメディアミックス推進戦略に応じ、台湾角川はドラマ作品の開発を発表しました。2024 年前半、台湾市場でのガールズラブ（GL）作品に対する注目度と販売実績が大幅に増加する傾向があり、KadoKado 作品の『她的唇，她的吻（仮訳：彼女の唇、彼女のくちづけ）』は台湾初の GL 小説から改編されたドラマ作品となる見込みです。本ドラマは台湾角川が監修し、有意思国際伝媒と創意不累工作室で共同制作予定です。

GL 市場の有望性に加え、すでに実写化 4 作品、朗読劇 1 作品、ミュージカル 1 作品、コミック 1 作品の権利が販売されています。中でも、「2022 年 KadoKado 百万小説創作大賞」で大賞を受賞した『失控的 AI-我在元宇宙被判死刑（仮訳：暴走した AI—メタバースで死刑判決を受けた私）』は、長編ドラマ化と朗読劇化が決定しています。



『她的唇，她的吻（仮訳：彼女の唇、彼女のくちづけ）』のドラマは、有意思国際伝媒と創意不累工作室で共同制作予定です。



台湾角川はメディアミックスを積極的に推進し、自社作品の実写映像化の可能性を開拓しています。

【重大発表③：台湾 IP のグローバル化】



台湾発 IP はポテンシャルが高く、台湾角川は IP メディアミックスチームを結成し、全世界に向かって推進することを目指しています。

台湾の力を世界へ！KADOKAWA グループを通じて台湾オリジナル IP を世界に発信

また、台湾角川は 11 作品の海外版権を 12 カ国に販売したことも発表。その中でも、『ヘレナとオオカミさん』と『殤否』は日本でコミック単行本が発売されました。さらに KADOKAWA グループのネットワークを通じて、韓国、中国、インドネシア、マレーシア、タイ、アメリカ、フランスなど、世界各国のグループ子会社に台湾オリジナル IP 作品を一斉に案内。同時に、翻訳著作権エージェントとも協力し、積極的に各種国際ブックフェアを通じ、海外ライセンス出版の機会拡大を図ります。また「KadoKado 百万小説創作大賞」の受賞作計 17 作品を日本語に翻訳し、KADOKAWA のプラットフォーム「カクヨム」で公開することで、より多くの地域の読者に台湾の優れたオリジナル作品に触れていただく機会を提供していきます。

日台共同開発「台湾限定・台湾先行」オリジナルコミックが 11 月 9 日より台湾で配信開始！

台湾角川と KADOKAWA グローバルコミック部は、2023 年より「台湾人コミック編集者の育成と台湾先行コミック作品の創出」を目的に提携し、「台湾限定・台湾先行」のオリジナルコミックの創作を開始しました。台湾現地の特徴をテーマに、青春アクション、サスペンス&ホラー、怪異ファンタジーの 3 作品と、女性向け恋愛ファンタジー、転生攻略ゲームテーマの 2 作品を台湾市場向けに特別制作し、11 月 9 日より台湾 BOOK☆WALKER にて先行配信を開始、その後は毎月更新の形式でオンライン連載していく予定です。



「台湾限定・台湾先行」の日台共同開発オリジナルコミックを創出し、無限の可能性を掴みます！

小説からのコミック化がある以上、台湾角川はコミックやイラストから小説の人材や作品を発掘することも検討し、「あなたが書く、私が描く、日本コミカライズ小説コンテスト」の開催を発表しました。このコンテストは 2024 年 11 月 9 日から 2025 年 1 月 3 日まで開催され、主催側が提供したイラストをもとに、クリエイターが想像を込めて小説を投稿する開催形式になります。受賞作は日本のクリエイターの手によりコミカライズされる予定です。



台湾角川は、「あなたが書く、私が描く、日本コミカライズ小説コンテスト」の開催により、台湾IPの莫大な創造力の発掘を期待しています。

■株式会社 KADOKAWA について

出版、映像、ゲーム、Web サービス、教育、ところざわサクラタウンを中心とした IP 体験施設の運営など、幅広い事業を展開する総合エンターテインメント企業です。優れた IP (Intellectual Property) を安定的に創出し、さまざまな形で世界に届ける「グローバル・メディアミックス」戦略を、テクノロジーの活用により実践しております。

<https://group.kadokawa.co.jp/>

■台湾角川股份有限公司について

1999 年設立。都市情報誌「台北ウォーカー」の創刊を皮切りに、日本のライトノベルやコミックなどの翻訳出版をすることにより、読書ブームを巻き起こし、台湾の出版業界に確固たる地位を確立。また、中国語オリジナル作品の開発や新世代クリエイターの発掘にも注力し、アニメグッズ、電子書籍プラットフォーム「BOOK☆WALKER」、小説創作プラットフォーム「KadoKado 角角者」などに事業領域を拡大し、台湾におけるアニメ・コミック市場のより良い発展に努めていきます。

<https://www.kadokawa.com.tw/>

■台湾 BOOK☆WALKER について

台湾角川、日本 BOOK☆WALKER、東立出版社、蓋亞文化などアニメ・コミック業界の主要企業の出資によって設立。ウェブサイトは台湾現地の IT チームが手掛け、日本 BOOK☆WALKER が開発したアプリを利用することで、台湾 BOOK☆WALKER はコミック・ラノベのジャンルにおいて台湾で最速配信、コンテンツ揃えが最も豊富なトップ 1 電子書籍プラットフォームになっています。同時に、他の種類の書籍も積極的に拡大し、読者に幅広い読書の選択肢を提供していきます。

<https://www.bookwalker.com.tw/>

■KadoKado 角角者について

台湾角川が開発・運営している小説連載プラットフォーム。正式許諾を取得し、日本カクヨムのライトノベル、魔法の i らんどの連載小説の中国語版を独占連載中。他にも、台湾オリジナル作家による独占契約作品、及び他のオリジナル連載小説作品が多数あり。KadoKado 角角者の投稿作品は編集者により厳選され、独占契約のオファーによって優秀なオリジナル IP を自社で確保し、今後 IP の更なる展開の可能性を開拓していきます。

<https://www.kadokado.com.tw/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社 KADOKAWA 海外事業局
E-mail : ib-support@ml.kadokawa.jp